

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年4月2日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677500094
法人名	医療法人 おさしお会
事業所名	グループホーム きらら
所在地	鹿児島県鹿屋市吾平町麓3766番地1 (電話) 0994 - 58 - 5859
自己評価作成日	平成29年3月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月22日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、周辺はのどかな風景に囲まれ、畑が一面に広がり、遠方には国見岳があり、自然に恵まれた場所にあります。同敷地内には、隣接する老人保健施設・通所リハビリテーション・認知症デイがあり、慰問や保育園園児さん方との交流会の際には、声掛けを頂き参加しています。健康管理に於いては、月2回の訪問診療や主治医や看護師との連携を図りながら、他科受診や緊急時の対応を取っています。ご家族様面会時にはゆっくりくつろいで頂ける様居室で、お茶・軽菓子を提供して話が出来る雰囲気作りを行っています。ご家族様には面会後にホームでの近況報告を行っています。ホーム内の行事の中で、家族交流会を年に2回設けており、5月には運動会、10月には、近隣の温泉で食事をご家族様と入所中の皆様と召し上がって頂いてます。又、家族のみの会もご家族様司会進行で行って頂き、職員の向上に繋げています。9月には鹿児島水族館見学にご家族様の参加もあり楽しい時間を過ごされてます。月々の行事には、職員が志向を凝らし行っています。地域の方々との交流会では、消防訓練への参加や、町内の奉仕作業に参加して交流を行っています。月2回の地域運営推進会議では、民生委員・地区の班長・ご家族代表・行政の方の参加もあり貴重な意見やアドバイスを頂いています。火災訓練や地震に備えての自主訓練を行いながら、消防署立ち合い訓練も行い災害に備えています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体医療機関や特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・デイケアが併設された2ユニットのグループホームであり、法人全体で地域福祉の拠点としての役割を担っている。
- ・自治会に加入し、地域の総会や奉仕作業、文化祭への作品の出展やミニサマーフェスタなど地域行事へ参加、中・高校生の体験学習や実習生受入、保育園児との交流、消防訓練への地域住民の参加、地域との交流を盛んに行っている。
- ・年2回、家族交流会を開催、1回は近隣の温泉での利用者と一緒に食事会や家族だけの交流の場を設け、意見や要望・提案を出しやすい環境づくりに努めている。面会時にはお茶や菓子を準備し、居室でゆっくりくつろげる様な雰囲気づくりに努めている。
- ・自立支援と一人ひとりの生きがいにつながるよう、能力に応じて支援やレクリエーションの工夫など、個別ケアを大切にしている。
- ・管理者は職員の資質向上に向けて勉強会や外部・内部研修を積極的に計画、資格取得を奨励している。働きやすい環境づくりに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	きらら理念は、ホームいつでも見れる場所に掲げてあり、利用者様が地域の中でその人らしい生活が出来るように職員は共有を行えるようにしている。	利用者の手書きの理念を、玄関やホールに掲示している。パンフレットにも掲載している。ミーティングや職員会議で理念を話し合い、振り返りを行い支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の文化祭見学・地区の班の方々との交流や職員は奉仕活動参加を行い地域の一員として交流を行っている。又、もち米、さつま芋を頂る。	自治会に加入し、総会や班会への出席、奉仕作業や消防訓練に参加している。町内の文化祭に利用者の作品の出展や見物している。七夕祭りにも参加して交流している。中・高校生の職場体験学習や看護学生の実習・ボランティアの受け入れも行っている。近隣から米や野菜の差し入れ等もあり、日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	学生の方々のボランティアや体験学習の中で交流して頂き認知症を理解して頂く。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月毎に1回の運営推進会議では、利用者様の入退所報告や行事・職員の入職退職報告・事故報告等を行い、助言を頂き職員は、サービスの向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催し、事業所の状況報告や事故・ヒヤリハット報告、外部評価結果等の報告を行い、地域の状況などを教えてもらい意見交換をしている。提案で直通電話の設置や防災頭巾導入等を行い、サービスに反映している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市町村の担当者の方々と電話等で連携を図り推進会では、実情やケアのサービスの取り組みを伝え協力関係を築ける様に取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者とは書類関係で窓口に出かけたり、電話で相談や連携をとっている。運営推進会議でも情報や助言をもらっている。行政主催の研修会やグループホーム協議会の研修会にも参加して協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束については、職員研修・勉強を行い、日頃のケアに拘束しないケアにt折組んでいる。</p>	<p>法人主催の年1回の研修会に参加して伝達勉強会を行っている。マニュアルがあり、身体拘束検討委員会が中心となり外部研修・内部勉強会で事例検討などを行い、スピーチロックも含め、身体拘束ゼロを実践している。昼間は玄関の鍵はしていない。外出傾向のある時は、職員と散歩したり、話をしたり自宅周辺のドライブに出かけている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待についての研修や勉強会へ参加し虐待がどのようなものであるか把握し虐待が見逃されることのないよう注意を払い防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い活動できる様に取り組んでいきたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用料金の説明・入所契約や重要事項の内容を説明・確認して頂き理解・納得して頂き同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情窓口を表示・設置してる。ご家族のみの会をご家族様の司会進行で施設・職員への要望希望・改善してほしいことを話しあってもらっている。又、利用者様には、会話を通し意見・要望をお聞きしている。地域運営推進会や家族会で報告・助言を頂き運営に反映させている</p>	<p>利用者からは日常会話を通じて把握し、ケアに反映させている。家族からは家族会や面会の時に把握している。家族だけで話し合いの時間を設けて、意見が出やすいように工夫したり、遠方の方には個別のお便りで意見を聞いている。出された意見は運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>きららのユニット会・ミーティングノートを活用し施設内の会議や母体グループ内での管理者会議で意見・案を出し合い反映できるように努めている。</p>	<p>管理者はユニット会議やミーティングにおいて意見や要望・提案等を出してもらい話合いを行いケアに反映している。朝夕の更衣についてや浴室暖房の件・入浴時の2人介助など、出された意見は、反映できるように対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人員確保を行い早出・遅出をローテーションで行っている。月に1回は有休をとれるようにし、勤務変更が必要時は職員間で調整し交代がしやすいようにしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修・内部研修に参加できるように取り組んでいる。研修後は、研修内容をレポートにまとめ報告し情報の共有を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修参加や同業者と交流や情報交換を行いサービスの向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人様ご家族の要望希望をお聞きし・サービス事業所からの情報提供等でご本人様が安心確保が出来るような関係作りに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様が困っていることや、不安なことを要望・希望等傾聴し信頼い関係が築ける様に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人・ご家族様からの情報収集を行い職員間で話し合いを設け必要としている支援・対応を行うように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>掃除・洗濯たたみを行い・話をしたり・歌を歌い暮らしを共にし、関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時にホームでのご本人の状況を伝え、ご家族様には、自宅での生活歴や・情報を聴きながらご本人を支えていける関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブに行った際は、馴染みのある場所や自宅付近を通る様にしている。知人・友人の方々は、居室にて話をしてくる様に努めている。	地域行事の文化祭などへの参加やデイサービス利用者との交流、面会に来やすい環境づくりなど工夫している。行きつけの店への買い物や電話の取次ぎ、手紙や年賀状作成の手伝いなど関係継続への支援を行っている。家族の協力を経ながら外出や外食、法事への参加も支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクレーションやカルチャーには、声かけし参加して頂ける様にホールでの席も孤立されない様にしている。孤立されることが無いように特に耳の遠い方には職員は間に入り話を伝える様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院され退所された方にはお顔を見に行ったり、ご家族様へ会ったら近況をお伺いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人より希望や要望があったら、必要時にご家族様にもお伝えし、把握できるように努めている。	アセスメントや家族からの情報を基に申し送りノートやケア記録で情報を共有している。毎月手紙で家族と連携を図り、本人の意向を伝えている。入浴時や夜間のゆっくりした時が把握しやすい。困難な場合は、「はい・いいえ」で返事ができるような言葉かけの工夫をして、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様や入所前のケアマネージャーから生活歴や・生活環境を聴き情報収集に努めて把握できるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の1日の流れをお伝えし、その方個々の体調や心身の状態に合わせ1日を過ごして頂ける様に努めている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活環境や体調を把握しモニタリングを行い、本人・家族様の意見を参考にし現状に即した介護計画を作成している。	本人や家族の意向を踏まえ、遠方の家族には電話で聴き取り、主治医や必要な関係者の意見やアイデアを反映させ担当者会議で、個々に応じた介護計画を作成している。モニタリングは毎月行い、6ヶ月毎に見直ししている。状況に変化があった時は、その都度介護計画を見直ししている。	
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の利用者様の行動・体調・心身の状況を記録しミーティングノートの活用や申し送り等で情報の共有を行い実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれるニーズは職員間で話し合いを設け、他部署の方々からのアドバイスやご家族様の状況に応じ柔軟な支援・サービスを取り入れる様に行っている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の文化祭出品や地域の方々との交流会・園児さん方との交流会・隣接の老健・認知症デイ交流を通し楽しく過ごせる様に支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回の訪問診療や緊急時主治医と連携を図っている。ご利用者様の症状に合わせた専門医を主治医より紹介や、ご家族様より希望病院を聴きながら適切な医療が受けられる様に支援している。</p>	<p>本人や家族の希望で母体医療機関がかかりつけ医となっている。月2回の訪問診療を中心に24時間体制で連携を図っている。家族の希望や主治医の指示により、歯科は職員が対応し他科受診は、家族の協力を得ながら適切な医療が受けられる様支援している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入所者様が表情・体調など普段とは違う際は、Nsへ報告相談・アドバイスをもらいながらし、職員間で情報を共有し、個々の利用者様が受診を受けられるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は医療機関と情報交換や相談を行い利用者様やご家族様が安心して治療が出来るよう病院関係者と関係作りを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期については入所申込みの際・年2回の家族会の際ご家族様に話をさせて頂き、重度化となる際は、再度ご家族様・主治医・職員を交え今後のことについて話し合いを設けている。ホームでは看取りは行っていない。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針を、入居時に話をして同意を得ている。状態が重度化に進行した時は、再度、家族に主治医、職員を入れて段階的に話し合いをして事業所でできることを説明しながら、方針を共有して対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルを行いシュミレーションを行っている。救急搬送の際は救急隊へ情報カードを作成している。応急時は、Nsへ報告し連携を図っている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎月1回の自主訓練を行い年2回消防署の立ち合い訓練や通報装置を押しての訓練を行っている。地域の方々の参加も頂いている。</p>	<p>年に1回は消防署立ち合いで、避難訓練を実施している。避難場所・避難経路の確認を行い、防災設備等の点検もしている。地域住民の協力もある。自主訓練は毎月行い、緊急通報装置や防災設備の確認をしている。防災頭巾を用意し、災害時の水や菓子・麺類・米・レトルト食品等を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会などを通し又職員間で情報交換・共有しながらお一人お一人の人格を尊重しプライバシーを損ねないようなことばかけや対応を行っている。	指針・マニュアルがあり、ユニットごとに勉強会をして確認と意識の統一を図っている。誇りやプライバシーを損ねない声かけや対応には十分注意している。入室や入浴介助・トイレでの見守り等、言葉かけや対応に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何をされたいのか・どう思っておられるか利用者様が自己決定がしやすい様に、話しやすい環境作りや声かけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様が、お一人お一人御自分のペースで過ごせられるよう希望の添える様に支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類選びを行って頂いたり、首にスカーフを巻かれたり・バッグを持たれたりされその人らしいおしゃれが出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の嗜好を確認しメニューには、肉魚野菜が偏らないようにして、旬の食材を使い、季節ごとの行事メニューを入れている。	入居時に嗜好を確認し、旬の食材を使用してバランス良い食事を提供している。個々に応じた食事形態を考えたり、代替え食・きざみ食にも対応している。行事食は楽しみの一つであり、おせち料理やパイキング・そば作り等をして支援している。利用者はもやしの根切りや台拭き・配膳・下膳など、職員と一緒にして食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の利用者様に応じた食事摂取量を提供し、水分は、声かけや一部介助しながら必要な量を飲用されるよう努めている。日々の状態を見ながら職員間で共有し、支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	うがい・歯磨きは個々の利用者様の残存機能に応じた支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お一人お一人の排泄パターンを把握し、声かけやトイレ誘導・オムツ交換を行っている。	排泄チェック表を活用して、パターンを把握し、声かけや誘導を行って、トイレでの排泄を支援している。食事の後は特に気配りしている。リハビリパンツから布パンツに改善した事例がある。パットは個々に適した種類を選び、水分補給や食生活にも配慮して自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維を多く含む食品を取り入れたり、ラジオ体操など体を動かし、水分補給を行いながら予防に努めている。また、排便チェック対応を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回入浴を基本とし希望時や必要時は入浴できるように努めている。1対1の対応を行い、くつろげるよう個々に応じた支援を行っている。	週3回、希望時に随時入浴できるよう柔軟な対応をしている。浴室との温度差解消、ゆず湯の利用や個人でのシャンプー・リンスの持ち込みなど、ゆっくりくつろげる入浴となるよう支援している。拒否のある利用者には時間差や声かけの工夫で対応し、必要に応じて清拭や足浴を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の利用者様に合わせ安心して休んで頂ける様、眠れない時は、話を傾聴したり・テレビを見たりされ、その方の時間に合わせ休んで頂けるよう支援を行っている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お一人お一人が服用されているお薬の内容や用法や用量を服用前に確認・理解しDr/Nsと連携を図りながら症状の変化の確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	朝は床掃きや洗濯たたみ・食事の配膳・下膳を行って頂いたり、月毎の行事やレクレーション・カルチャー・ドライブ等を行い出来る事の支援や楽しみ・気分転換等の支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	月の行事に取り入れることにより外出する機会を作っている。又希望や意向に沿いながらドライブやご家族様と外出が出来るよう支援を行っている。	天気の良い日は菜園を見て回ったり、近隣を散歩したり、職員と一緒にゴミ出しや買い物等に出かけている。年間行事で花見や水族館見学・地域行事への参加、家族も参加して温泉での家族会開催や家族と外出や外食・外泊など、支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族様の了解を頂き財布を持たれることで安心される利用者様は個人的にお金を所持して頂いている。買い物等はお預かりしているお金を利用者様へお渡しし、支払されている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望の際は電話の取り次ぎ支援を行っている。利用者様から新年のあいさつ文をご家族様へ書いて頂き送っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感が味わえるようにホーム内に展示している。ホールでは話がしやすいような席を設け室温や照明を工夫し居心地良く過ごせる様にしている。</p>	<p>共用空間は天井が高く天窓があり明るくて広い。換気や温度・湿度に配慮し空調設備が整っている。大きな窓から外の景色が見える。壁には行事や利用者の写真・利用者の文化祭出展の作品が飾ってある。台所は対面式で話ができる。テーブルやいす・ソファの配置を工夫し、好みの場所で居心地良く過ごせるような配慮がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用のホールにはテレビを見たり、気の合った利用者様が話が出来るよう席の工夫を行いながら、思い思いに過ごして頂ける様に努めている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅にあった使い慣れた品・アルバム・枕・飾りを持ち込まれご本人が居心地良く過ごせるようご家族様と相談しながら行っている。</p>	<p>居室はベッドやエアコン・クローゼットが設置され、家から持ってきた神棚や位牌・テレビ・テーブル・椅子等、使い慣れた物が持ち込まれている。写真や手芸品が飾られ居心地良く過ごせる環境となっている。居室入口にはマットが埋め込まれてわかりやすい配慮がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホール・洗面所・トイレ・浴室など手すりが設置され、自室入口には個々の利用者様が何時でも自室へ怒る様名前が記入されている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない